

憲法改正

さいとう健は、憲法改正についての議論をきちんとすべきだという考えです。日本をめぐる国際環境は、第二次世界大戦終結時から激変をしております。時代が変われば国のあり方が変わるのは当然です。憲法が国のあり方を規定するものならば、当然憲法も変わってきてしかるべきです。現に、戦後ドイツでは57回、イタリアは15回、フランスは27回、アメリカは6回憲法改正を行ってきております。

ですが、日本では、憲法改正を議論することが悪いことのように言われ続けてきました。まず、議論をしましょう。今の憲法が本当に時代にふさわしいものになっているかどうかを。そして、議論しても憲法を変えることが不可能ということであれば、議論の意味はない。そういう意味で、憲法改正手続きをあまりに厳しく規定している96条を改正して、憲法改正がもう少ししやすくなるようにすることを、まず行ったらどうかというのがさいとう健の意見ですが、おそらく安倍内閣もこういう方向で考えていると推察されます。

オリンピック

今年9月に2020年の開催地が決まります。東京はかなり有利になってきたようです。本当に日本にオリンピックが来るかもしれません。

1964年の東京オリンピックの時には、新幹線を作り、首都高を作るなどして、世界中から集まる方々に、戦後復興した、のぼりゆく日本を見てもらおうと日本人すべてが燃えました。

今度もまた、震災から立ち直り、再び坂の上の雲を目指して走り出した日本を見てもらおうと、あらゆるところで2020年までにこうしよう、ああしよう動きが自発的に起こってくるのではないのでしょうか。

さいとう健は、東京オリンピックを単なるスポーツの祭典としてではなく、日本復活ののろしにできたらと思っております。

治安がよく、長寿で、エコで、社会保障も合理的で、一方で最先端の技術を持ち、世界に冠たる教育水準を保つ国、日本。そういう国を2020年に世界からくる人々に見せることができれば、なんと素晴らしいことでしょう。

「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざを突き合わせて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。二人でも三人でも結構ですので、企画してお呼びいただければ幸いです。



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構ですので、お声かけいただければと思います。



環境大臣政務官に就任

安倍内閣において環境大臣政務官に就任しました。自然保護はもちろん、放射線対策や地球温暖化対策まで多岐にわたり取り組んでおります。前から2列目、右から2人目がさいとう健です。



さいとう健と一緒に明日の日本を育てませんか？

さいとう健事務所では、ボランティアスタッフを募集しています。どなたでも歓迎します。政策ビラのポスティングや、ポスター掲示のご協力、軽作業など。一人ひとりのお力が、さいとう健の支えになります。



twitterはじめました。

こんにちはワン！僕、さいとう健の飼犬のさいとう犬だワン！僕から見たご主人様の活動をときどき吠えてるから、みんな登録よろしくワン！

メルマガさいとう健

- ◆氏名・住所の登録不要。
 - ◆国政課題、地元の話についてさいとう健の考えをお伝えします。
 - ◆返信をすれば、匿名で意見を伝えられます。
 - ◆ホームページからご登録いただけます。
- あなたのご意見、お聞かせ下さい。



ニコニコ動画をご覧になれる方へ

さいとう健の予算委員会質問が、ニコニコ動画において31万回再生を突破し**大ブレイク!!**元の映像も20万回再生を記録！キーワードは「言っちゃった☆」

LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主 号外

発行所：自由民主党本部 定価1部105円(税込) 毎週火曜日発行
住所：〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話：03-3581-6211(代表) ホームページ：http://www.jimin.jp/



月刊 さいとう健 けん

特別号
平成25年春季発行

《ミニプロフィール》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出身)などに携わる。平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。平成24年衆議院総選挙において、千葉七区より二期目の当選。現在、環境大臣政務官として除染やCO2削減問題に奮闘中。
[趣味] ハンドボール、カラオケ、読書、映画
[好きな食べ物] ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)
〒270-0137 流山市市野谷665-40-103
TEL: 04-7157-6223 FAX: 04-7157-6224
E-mail: info@saito-ken.jp
さいとう健 国会事務所
〒100-8981
千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221



「安倍政権が進めている改革について」

アベノミクスだけが、安倍政権の改革ではありません。安倍政権は、実は、日本が抱える多くの宿題に果敢に挑戦しております。これらの多くは、野党時代、さいとう健が政調会長補佐として取り組んできたものであり、中には自ら書いたものもあります。今回の「月刊さいとう健」は、これらについてご紹介したいと思っております。皆さんいかがお考えになりますか？

経済改革

一番の特徴は、日銀が物価安定目標を設定し、大胆な金融緩和に踏み切ったことです。これは今までの経済対策にはありませんでした。本邦初演です。

先進国の中で、デフレが10年以上続いているのは日本だけです。また、先進国の中央銀行の中で、最も金融緩和が生ぬるいのは日銀でした。

アベノミクスの一番の肝は、日銀を他の国の中央銀行並みに働かせることに成功したということです。そして、金融緩和だけではお金が銀行にたまるだけですので、同時に実需を生む景気対策を大胆に実行し、金融緩和と実需の創造という車の両輪で一気に景気を浮上させようというのがアベノミクスの神髄です。

今のところ、株式市場も為替市場もこれらの政策を好感しているのは皆さんご案内の通りです。

規制改革

この分野での安倍政権の新しい試みとして、国際先端テストの導入が検討されております。これは、諸外国で行われている規制と日本の規制を比べて、世界で最も合理的な規制を行っている国の規制に合わせていこうというものです。国情の違いもあろうかと思いますが、他の国でできることは日本でもできるはずだというのが基本的な考え方です。

☆コラムその1☆

PM2.5について

環境大臣政務官としての仕事の報告は、これからおいおいこの月刊で紹介していくつもりですが、最近話題になっております「PM2.5」について、専門家の皆さんとカンカンガクガク議論させていただいて、対策その他を緊急にまとめました。

一番わかりやすいのは、環境省ホームページの「微小粒子状物質(PM2.5)に関する情報」(<http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info.html>) サイトにある「微小粒子状物質(PM2.5)に関するよくある質問(Q&A)」(<http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info/attach/faq.pdf>) をご覧いただくのが一番かと思っております。同省ホームページからは、観測データの速報値もご覧いただけます。



新松戸ダイエー前に、同期の小泉進次郎氏が駆け付けてくれました。4000名の聴衆に感謝。